教科書 p.132～133■保健編４章　傷害の防止　**章のまとめ**

年　　組　　番　名前

●この章で学んだキーワード

□人的要因　p.108、111　□環境要因　p.108、111　□危険予測　p.109、112
□危険回避　p.109　□車両要因　p.111　□交通法規　p.112
□交通環境の整備　p.113　□車両の点検・整備　p.113
□犯罪が起こりやすい場所や場面　p.114　□自然災害　p.116
□一次災害　p.116　□二次災害　p.116　□日頃からの備え　p.117
□災害情報　p.117　□安全の確保　p.117　□応急手当　p.122
□心肺蘇生　p.123　□胸骨圧迫　p.123　□止血　p.123
□直接圧迫止血法　p.123　□固定　p.123

●振り返ろう

この章の学習を振り返り、評価してみよう。　当てはまるところにチェックしよう。

知識 学習の進め方を工夫するなどして、次のことを理解・習得できましたか。	よく できた	できた	まあ まあ	もう 少し
・傷害は、どんなことで起こり、どうすれば防止できるか。 ▸p.108～109				
・中学生の交通事故の特徴と交通事故の原因について　▸p.110～111				
・交通事故を防止するためには、どんな対策をとればよいか。 ▸p.112～113				
・犯罪被害を防止するためにはどうすればよいか。　▸p.114～115				
・自然災害による被害を防ぐにはどうすればよいか。　▸p.116～117				
・応急手当が必要な理由と基本的な手当の方法について ▸p.122～129				
思考・判断・表現など 学習の進め方を工夫するなどして、次のことができましたか。	よく できた	できた	まあ まあ	もう 少し
・傷害の防止に関わる事象や情報から課題を発見し、回避や防止の方法を考えたり、適切な方法を選択したり、それらを伝え合ったりしたか。 ▸p.108～129				

●確かめよう

1．次のア～クを、人的要因と環境要因に分けて記号で答えなさい。▸p.108～109

① 人的要因（　　）
② 環境要因（　　）

ア．刃物　イ．眠い　ウ．急いでいる　エ．暗い
オ．暑すぎる　カ．安全柵がない　キ．別のことに夢中　ク．ルールを守らない

2．次の文の（　）に当てはまる語句を、ア～エから選び、記号で答えなさい。▸p.110～113

交通事故は、人的要因、環境要因、車両要因が複雑に関わり合って起こる。

交通事故を防ぐためには、（①）を守って、安全に行動する必要があるとともに、道路や気象などの周囲の状況、車両の特性などをよくつかみ、（②）をして危険回避の行動をとることが大切である。また、信号機や道路標識の設置、（③）の実施など、（④）の整備が必要である。

ア．交通環境　　イ．危険予測　　ウ．交通規制　　エ．交通法規

①（　　）　②（　　）　③（　　）　④（　　）

3．次の各問いに答えなさい。▸p.114～115

①犯罪が起こりやすい場所を、例を参考に二つ答えなさい。

〔例〕人通りが少ない道

（　　）（　　）

② 犯罪を生み出さないために地域で進められている取り組みについて、例を一つ答えなさい。

（　　）

4．次の各問いに答えなさい。▸p.116～117

（1） 次の文の（　）に当てはまる語句を、ア～カから選び、記号で答えなさい。

（①）による被害を防止するためには、避難する場所や経路を確認するなど、（②）が必要である。（①）が発生したときには、緊急地震速報や気象警報などの（③）を、テレビやラジオ、インターネットなどの方法で正確に把握するとともに、自分や周りの人の（④）の確保のために、落ち着いて、素早く行動することが必要である。

ア．人災　　イ．自然災害　　ウ．日頃からの備え

エ．安全　　オ．災害情報　　カ．予知

①（　　）　②（　　）　③（　　）　④（　　）

（2） 自然災害が発生したときの行動として正しい場合には○、間違っている場合には×で答えなさい。

① 緊急地震速報が出されたので、はだしで家を飛び出した。（　）

② 地震が発生した直後、机の下に身を隠し、座布団で頭を保護した。（　）

③ 大地震が発生したので、津波が来るかもしれないと思い、海岸まで様子を見に行った。（　）

④ 正しい情報を得るために、携帯ラジオを持って避難した。（　）

5．次の各問いに答えなさい。▸p.122～129

（1） けが人や病人が出た場合の対処として正しい場合には○、間違っている場合には×で答えなさい。

① 適切な手当が行われれば、痛みや不安を和らげたり、生命を救ったりすることができる。（　）

② 心肺停止の場合には、どれだけ早く手当を開始するかが生死を大きく左右するため、少しでも早く手当を行うことが必要である。（　）

③ 心肺停止が疑われる人を発見した場合、目には見えない出血をしていることもあるので、絶対に移動させてはならない。（　）

④ 傷病者に反応がない場合、資格のない人は応急手当をしないほうがよい。（　）

（２） 次の①～③に関係の深い手当を、ア～カから全て選び、記号で答えなさい。

① 心肺停止のとき（出血なし）…… （　　）

② 切りきずで出血しているとき…… （　　）

③ 捻挫（ねんざ）しているとき…… （　　）

ア．胸骨圧迫（あっぱく）　イ．きず口の清潔保持　ウ．人工呼吸　エ．直接圧迫（あっぱく）止血法

オ．固定法　カ．AED を用いた手当

●生かそう

１．次の図を見て、各問いに答えなさい。

① この場面ではどんな事故が起きそうか。

（　　）

② この場所で事故が起きないようにするためには、どんなことを改善すればよいか。

（　　）

２．次の文を読んで、問いに答えなさい。

台風による大雨が予想されていた日のことです。まだ雨は降っていなかったので、Ａさんは友達の家に遊びに出かけました。家を出ると、空が急に暗くなり始めました。５分ほどすると雨が降ってきたため、すぐ近くにあった地下歩道に入って雨宿りをすることにしました。しばらくたつと雨水が流れ込（こ）んできて、膝（ひざ）まで水につかってしまいました。

① Ａさんは今回の被害（ひがい）を回避（かいひ）できた可能性がある。どうすれば回避（かいひ）することができたか、答えなさい。

（　　）

３．次の各問いに答えなさい。

（１） 胸骨圧迫（あっぱく）を行う際の注意点について、（　）の中から正しいものを選び、記号で答えなさい。

① 胸が（ア．約５cm　イ．約 20cm）沈（しず）むように圧迫（あっぱく）する。圧迫（あっぱく）の後で、胸の高さが完全に元に戻（もど）るように圧迫（あっぱく）を解除する。

② １分間に（ア．10～20 回　イ．100～120 回）の速さで行う。

③ 胸骨圧迫（あっぱく）の（ア．中断　イ．回数）が最小になるようにする。

①（　　）　②（　　）　③（　　）

（２） 次の図は、胸骨圧迫の圧迫姿勢として間違っている。正しい姿勢となるように何とアドバイスすればよいか、答えなさい。

●生活への活用

「傷害の防止」を学習して、もっと学習したい、自分自身の生活に生かしたいと思ったことを書いておきましょう。